

## 2011年3月期（平成23年3月期）第2四半期決算短信に関するQ & A

2010年10月27日に新聞発表を行いました「2011年3月期（平成23年3月期）第2四半期決算短信」につきまして、マスコミ各位他よりご質問いただいた点等を下記の通りお届けいたします。

### 1. 2011年3月期（平成23年3月期）第2四半期の連結業績について

Q 1 : 前期比で第2四半期が減収、増益となった理由は何か？

A 1 : 減収の理由は、大型の廃棄物処理施設の売上が前期で終了したためです。増益の理由は、水処理、廃棄物処理のアフターサービスが好調であることと、経費削減を含め想定を上回るコストダウンが実現したためです。

Q 2 : 2011年3月期通期の売上高・経常利益も同じ傾向か？

A 2 : 同じ傾向です。

Q 3 : 業績に円高は影響しているのか？

A 3 : 今後、海外売上比率を上げていきたいと考えておりますが、今のところ影響は小さいと認識しております。

### 2. 事業展開について

Q 1 : インドのジンダルウォーターインフラストラクチャー社との合併事業を行うとのことであるが、進捗はどうか？

A 1 : 年内に合併会社を設立する予定です。インドでは、世界の高炉メーカーが製鉄所を建設する計画が多数あります。当社の国内での製鉄所向け水処理設備建設の経験と実績を活かし、案件受注に取り組んでいきたいと考えております。

### 3. 全般

Q 1 : 業績好調により設備投資を増やす計画はあるか？

A 1 : 当初予算通りに進めていきます。設備投資というよりは、研究開発を前向きに行っていきたいと考えております。廃棄物発電技術、微量PCB処理技術、低動力海水淡水化技術等、中期ビジョンで掲げた技術開発に力を入れることに加え、他の新しい技術開発にも取り組んでいきたいと考えております。

Q 2 : 増配の予想は、2003年の新会社設立後、初めての事か？

A 2 : 初めてではありません。新会社設立時は2.5円配当、その後は4円配当を継続しておりましたが、連結の配当性向をみて配当予想を6円に増配するのが妥当と考えております。

以上